



Yamano Holdings

2026年3月期 決算説明資料

2026年5月27日

株式会社ヤマノホールディングス

(東証スタンダード 7571)

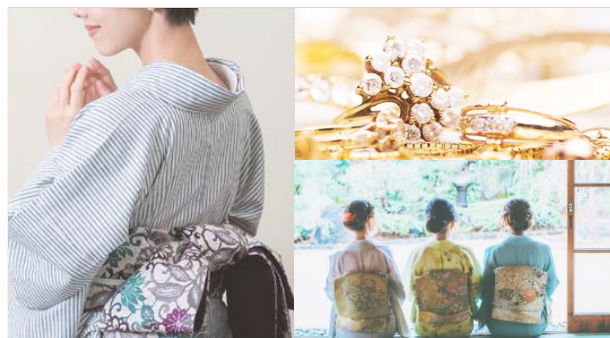
目次

- I. Executive Summary
- II. 2026年3月期 決算概要
- III. 中期経営計画の進捗
- IV. 2027年3月期 計画
- V. Appendix

ライフスタイル領域で事業ポートフォリオを拡張

当社グループは、美容・和装宝飾・ライフプラスを基盤事業とし、教育・リユース・フォトへ事業領域を広げてきたライフスタイル領域の企業グループです。

日々の暮らしに寄り添う領域から、人生の節目に関わる領域まで、豊かさや彩りあるライフスタイルを支える事業を展開しています。



和装宝飾 94店舗



美容 70店舗



教育 71教室



ライフプラス 25拠点



リユース 7店舗



フォト 5店舗

基盤事業で収益を支え、成長領域へ広げる事業ポートフォリオ

東証スタンダード上場(7571)

主要事業:美容/和装宝飾/ライフプラス/教育/リユース/フォト

【当社グループの価値創造の軸】

生活に寄り添う価値を起点に、持続的な企業価値向上を目指す

企業理念

美道五原則(髪・顔・装い・精神美・健康美)

創業の精神を礎に、内面と外面の調和のある美しさを追求

MISSION

『豊かさと彩りあるライフスタイルを創造し続けます』

VISION
2030

『従業員が投資したくなる会社へ』

2つの戦略的セグメント

ニューバリューで成長を取り込み、コアバリューで収益基盤を支える

事業ポートフォリオの最適化を進める中で、
役割の異なる2つの戦略的セグメント体制を構築

ニューバリューセグメント

高収益事業の拡充と成長のドライバー

教育／リユース／フォト

- 高収益事業の拡充
- 収益性の高い領域を拡張
- 中長期の成長を牽引

成長領域の拡張

コアバリューセグメント

安定収益・キャッシュ創出の基盤

和装宝飾／美容／ライフプラス

- 収益構造の改善
- 事業効率の向上
- 全社収益基盤を支える

収益基盤の強化



この両輪を通じて、収益力と企業価値の持続的な向上を目指す

EBITDA伸長と成長基盤拡充により、収益力向上に向けた事業基盤が前進

既存事業の収益改善に加え、3社が新たにグループ入りし、成長基盤の拡充を進めたことで、
全社収益力の向上に向けた事業基盤の整備が進展した一年。

コアバリューの 収益改善が進展

セグ利益 +284百万円
前期比 +170.9%
※一時的要因を含む

一時的要因を含みつつ、和装宝飾・
美容・ライフプラスで改善

ニューバリューの 成長基盤が拡充

売上高 +27.4%
M&A 3社実行

3社が新たに加わり、
成長領域の事業基盤を強化

収益力向上に向けた 基盤整備が前進

EBITDA +61.2%
EBITDA
マージン 4.0%

全社収益力強化に向けた
基盤整備が着実に進展

コアバリューの改善とニューバリューの拡充が、全社収益力の向上を支える

目次

I. Executive Summary

II. 2026年3月期 決算概要

III. 中期経営計画の進捗

IV. 2027年3月期 計画

V. Appendix

1 2026年3月期決算の総括

2026年3月期実績

売上高 **14,724**百万円(+5.4%) EBITDA **593**百万円(+61.2%) 営業利益 **411**百万円(+60.8%)

経常利益 **360**百万円(+52.6%) 当期純利益 **207**百万円(+396.7%) 年間配当 **1.5**円

- 売上高は期初計画を上回り、EBITDAは前年比+61.2%
- 一過性要因と先行費用を含みつつ、営業利益も前年比で大幅増益

2 中期計画2年目の進捗

- ニューバリュー売上構成比は、**15.2%**へ上昇
- **M&A3社**実行により、教育・リユース・フォトの成長領域を拡充

3 2027年3月期の方針

2027年3月期計画

売上高 **15,000**百万円 EBITDA **528**百万円 営業利益 **312**百万円

経常利益 **250**百万円 当期純利益 **128**百万円 年間配当 **1.5**円

- 一過性効果の反動・償却負担等を織り込むも、補正後EBITDAは伸長継続
- 取得済み会社の通年寄与により、増収と収益基盤の強化を目指す

目次

- I. Executive Summary
- II. 2026年3月期 決算概要**
- III. 中期経営計画の進捗
- IV. 2027年3月期 計画
- V. Appendix

2026年3月期 業績サマリー



Yamano Holdings

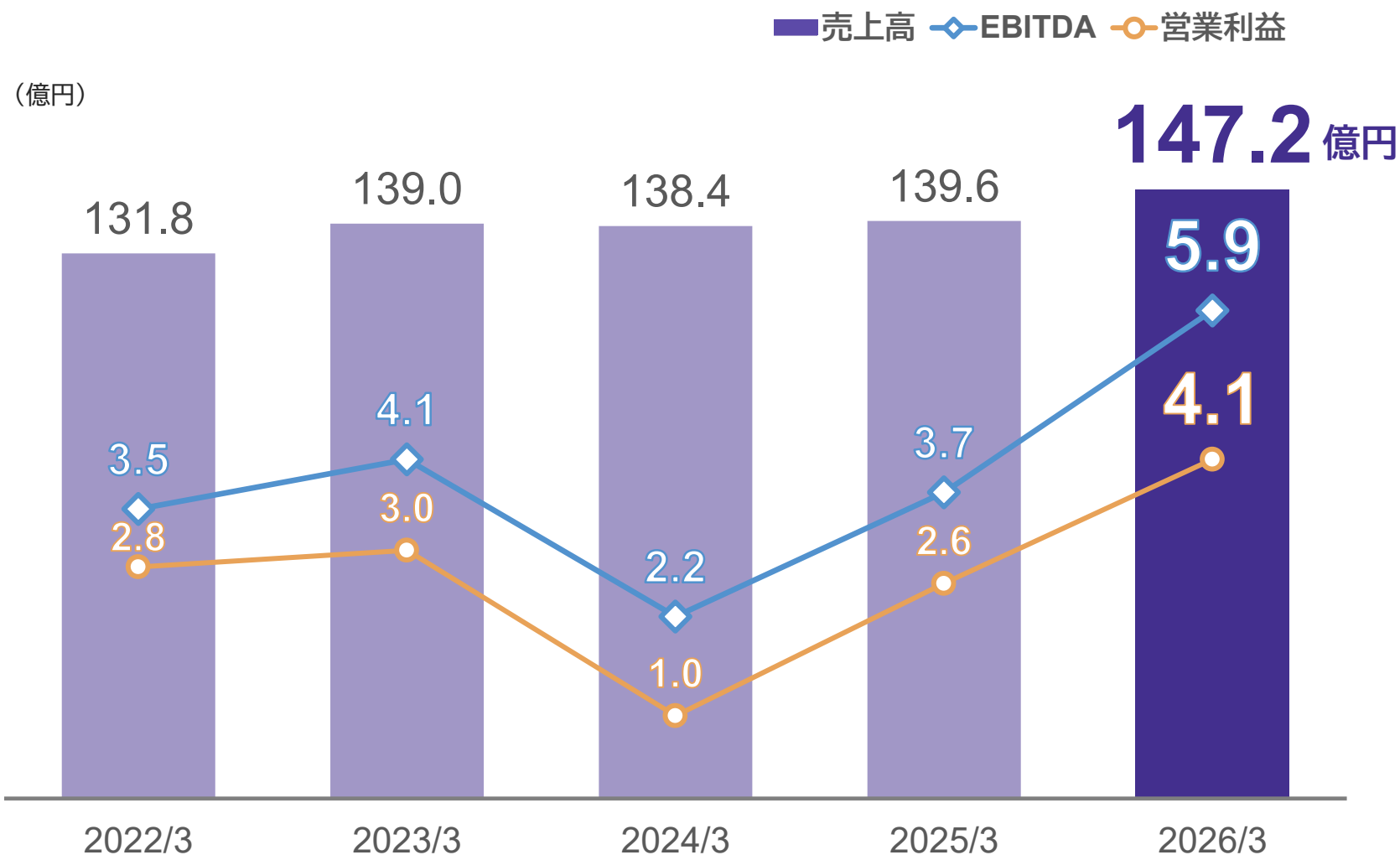
- 売上高は期初計画を上回り、営業利益は先行費用を織り込みつつ前年比で大幅増益
- 既存事業の収益改善と新規連結2社の寄与により、EBITDAマージンは4.0%を確保

(百万円)	2025/3 (実績)	2026/3 (実績)	前年比		2026/3 (期初計画)
			増減額	増減率	
売上高	13,964	14,724	+ 759	+ 5.4%	14,400
EBITDA (EBITDAマージン)	368 (2.6%)	593 (4.0%)	+ 225 (+1.4p)	+ 61.2%	640 (4.4%)
営業利益 (利益率)	256 (1.8%)	411 (2.8%)	+ 155 (+1.0p)	+ 60.8%	500 (3.5%)
経常利益 (利益率)	236 (1.7%)	360 (2.4%)	+ 124 (+0.8p)	+ 52.6%	450 (3.1%)
当期純利益 (利益率)	41 (0.3%)	207 (1.4%)	+ 166 (+1.1p)	+ 396.7%	320 (2.2%)
EPS(円)	1.20	5.96	+ 4.76円	—	9.18
1株配当(円)	1.0	1.5	+ 0.5円	—	1.5
ROE	3.3%	14.7%	+ 11.4p	—	—

※2026年3月期実績には、和装宝飾事業における引渡し早期化等による一過性効果を一部含む

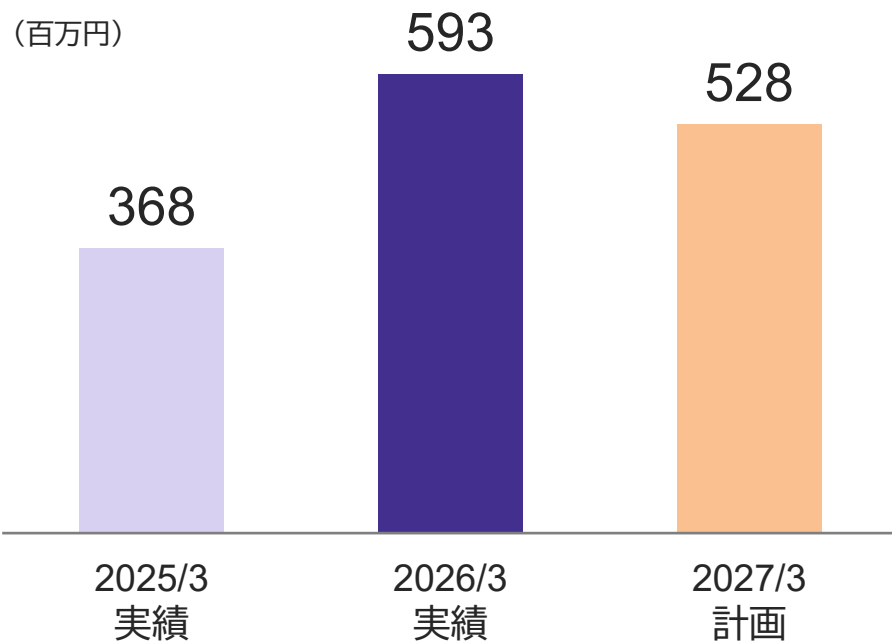
※EBITDAは、営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費を含む)の合計額

■ 売上拡大とEBITDA・営業利益の増加により、**収益基盤の強化**が進展

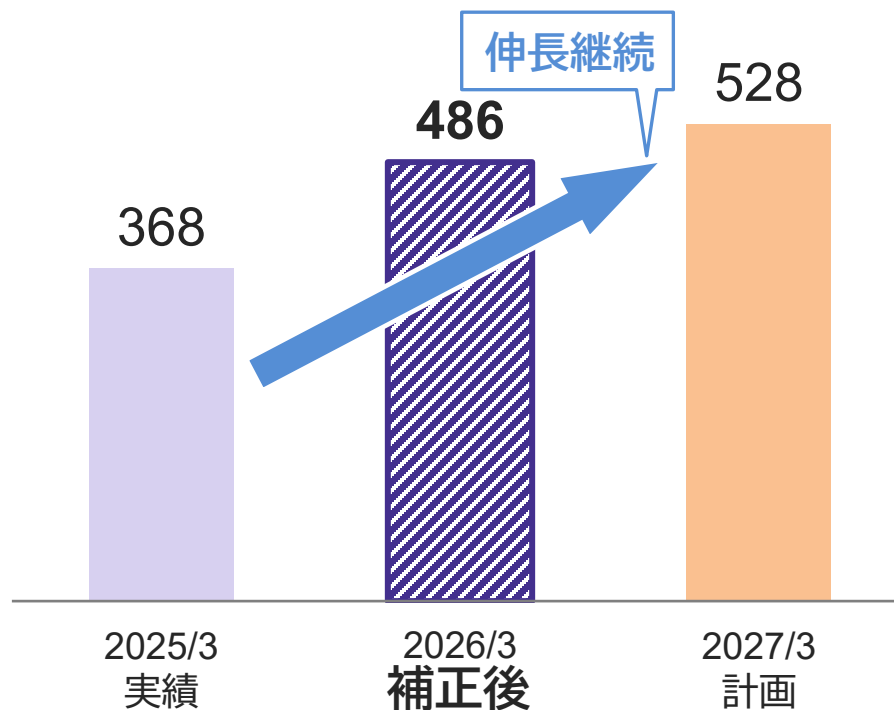


■ 補正後EBITDAは継続的に伸長し、利益創出力が着実に向上

実績・計画ベース



一時的要因・先行費用補正後ベース



$$593 - 200 + 93 = 486 \text{ 百万円}$$

2026/3 実績 一時的要因 (控除) 取得費用 (加算)

一時的要因・先行費用を補正したベースでも、EBITDAは着実に伸長する計画

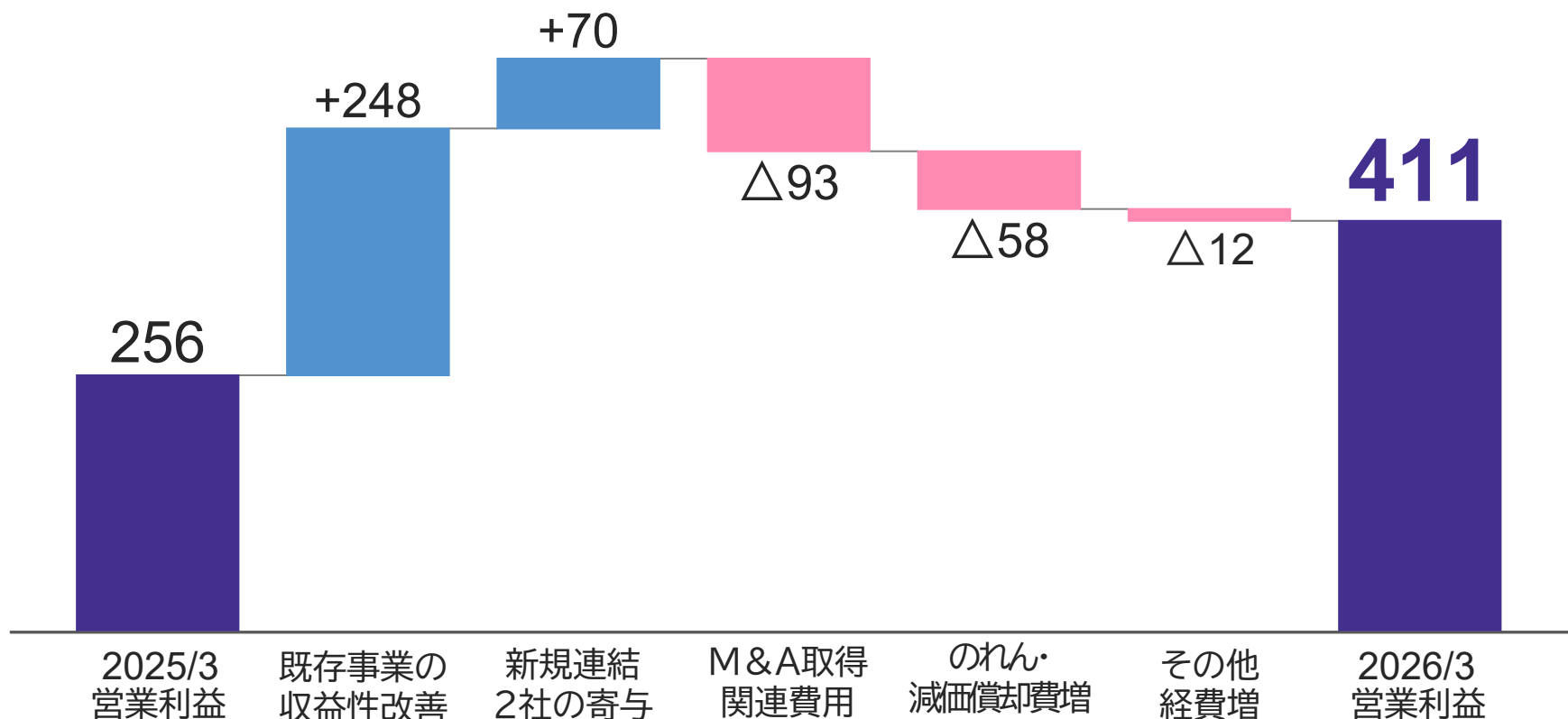
※2027/3 EBITDAは会社計画値

※EBITDAは、営業利益に減価償却費およびのれん償却費を加算して算出

- 既存事業の収益改善と新規連結2社の寄与により増益
- 先行費用や償却負担を吸収し、営業利益は前年差 **+155**百万円(+60.8%)

営業利益の増減要因

(百万円)



※既存事業は、当期新規連結2社を除いた事業

※M&A取得関連費用は、グループ入りした3社に係る費用

■ M&A実行に伴い資産規模は拡大、純資産の増加により自己資本比率は改善

連結貸借対照表サマリー

(百万円)

	2025/3末	2026/3末	増減
流動資産	6,077	6,180	+103
現金及び預金	2,438	2,841	+403
棚卸資産	1,250	1,138	△112
固定資産	1,879	2,232	+353
無形固定資産	427	775	+348
資産合計	7,956	8,413	+457
有利子負債※	2,684	3,205	+521
負債合計	6,628	6,920	+292
純資産	1,327	1,492	+165
自己資本比率	16.7%	17.7%	+1.0p

財務状態のポイント

資産 M&A実行に伴い資産規模が拡大

- ・M&A実行により、無形固定資産(のれん)が増加
- ・現金及び預金も増加し、一定の手元流動性を確保
- ・棚卸資産は減少し、運転資本の効率化も進展

負債 成長投資に伴い有利子負債は増加

- ・M&A資金・成長投資の活用により、有利子負債は増加
- ・借入水準と返済余力を継続的に管理
- ・財務健全性とのバランスを意識した資金運営を継続

財務健全性 自己資本比率は17.7%へ改善

- ・当期純利益の計上により、純資産が増加
- ・自己資本比率は前期末比で改善
- ・成長投資と財務健全性の両立を重視

※有利子負債は短期借入金、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計

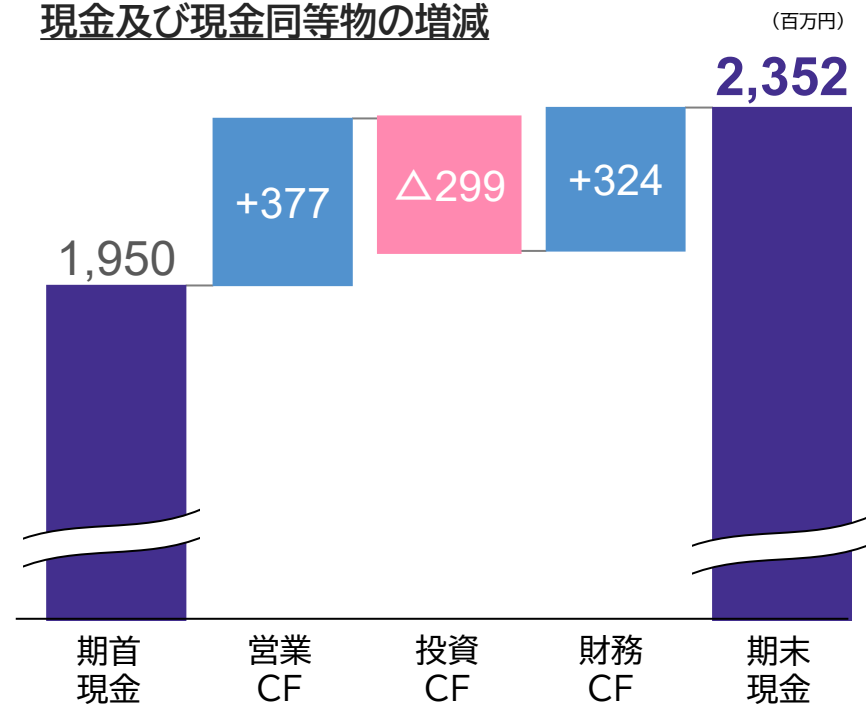
■ 営業キャッシュフローはプラスを維持、M&A・成長投資を実行しつつ、手元流動性を確保

連結キャッシュフローサマリー

	2025/3	2026/3	増減
営業キャッシュフロー	384	377	△7
投資キャッシュフロー	△126	△299	△173
フリーキャッシュフロー※	258	78	△180
財務キャッシュフロー	△551	324	+876
現金及び現金同等物の増減額	△293	402	+695
現金及び現金同等物の期首残高	2,243	1,950	△293
現金及び現金同等物の期末残高	1,950	2,352	+402

※フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

現金及び現金同等物の増減



キャッシュフローのポイント

- ・営業CFはプラスを維持し、本業によるキャッシュ創出を継続
- ・投資CFはM&A・成長投資により支出が増加
- ・財務CFは長期借入れによりプラス、期末現金残高は増加

■ ニューバリュー売上 +482百万円、コアバリュー利益 +284百万円

ニューバリューセグメント

- 新規連結2社の寄与により増収
- 教育、リユース等を成長領域の基盤として拡充

	(百万円)		
	2025/3	2026/3	増減
売上高	1,762	2,244	+482
セグメント利益	108	120	+12

- 売上高は前期比+482百万円、成長領域の拡大
- 教育の堅調推移に加え、M&A2社の貢献により成長領域の基盤を拡充

コアバリューセグメント

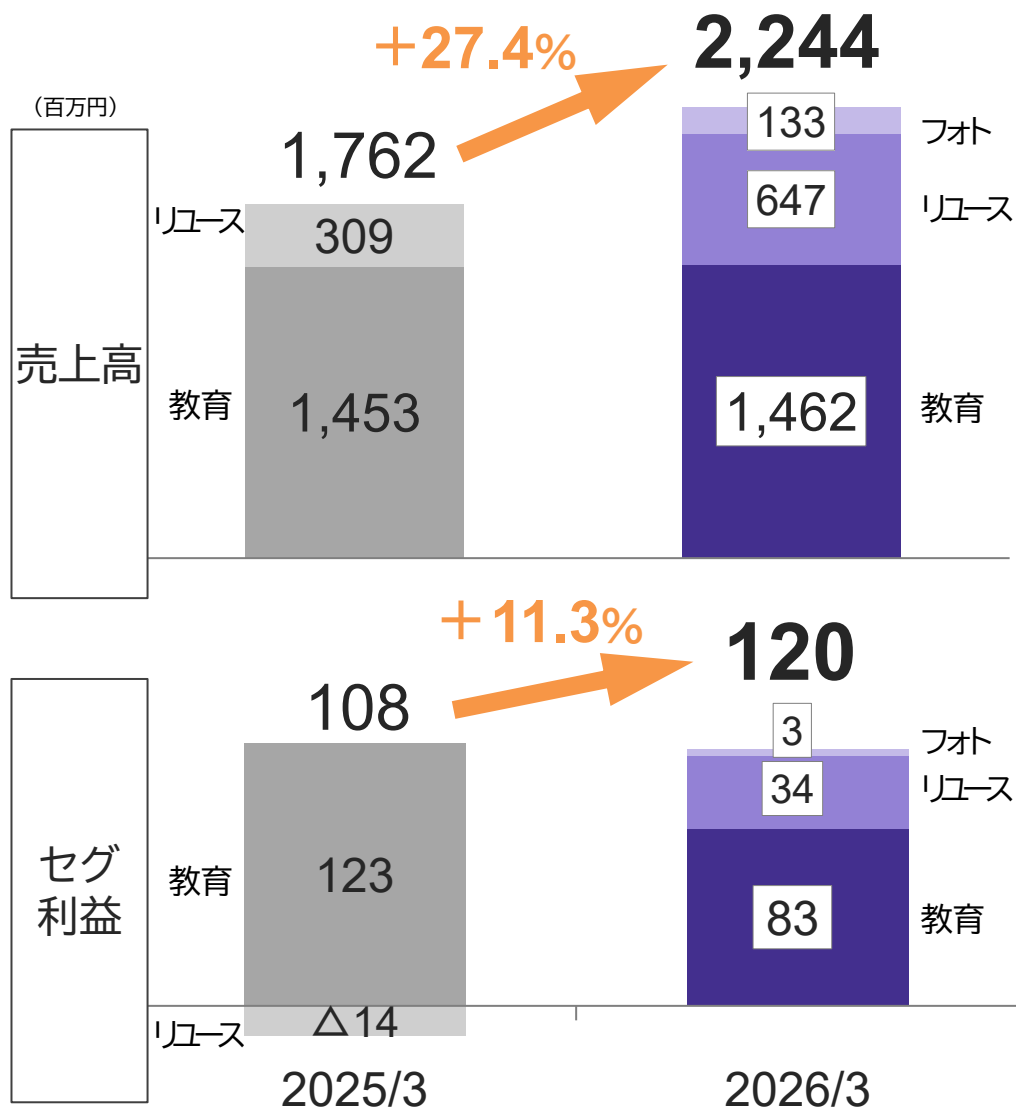
- 和装宝飾・美容・ライフプラスの各事業で収益性改善
- 販売管理の精度向上と費用コントロールを推進

	(百万円)		
	2025/3	2026/3	増減
売上高	12,202	12,479	+277
セグメント利益	166	450	+284

※一時要因を含む

- セグメント利益は前期比+284百万円と改善
- 販売管理の精度向上、店舗運営効率化、販路拡大等により、収益性改善が進展

■ M&Aによる新規連結寄与で、ニューバリュー売上が拡大



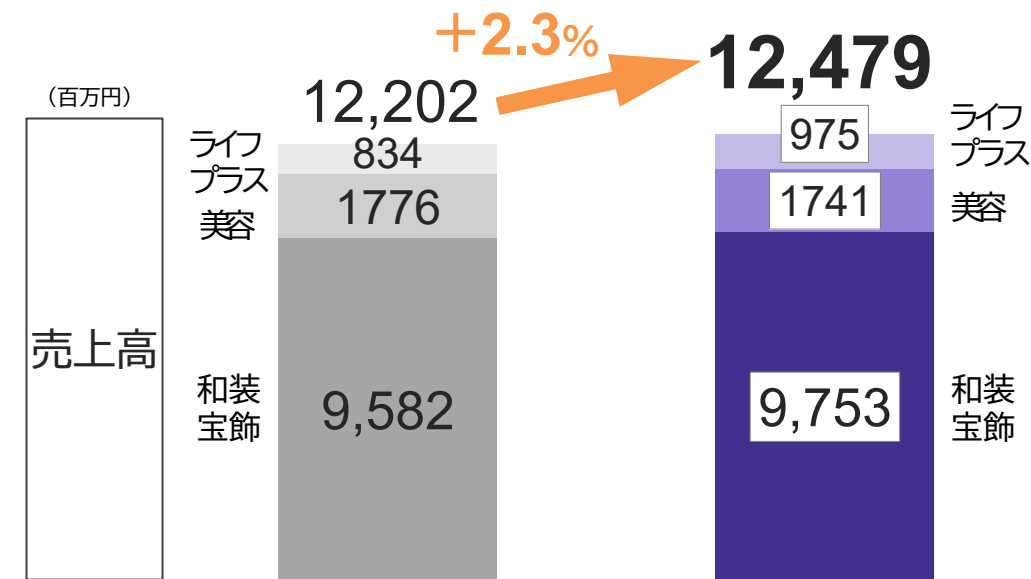
売上面

- 教育事業は売上基盤を堅固に維持。生徒数最大化と人財採用・育成を継続強化
- OLD FLIPは収益構造改革が着実に進捗。BtoB開拓等販売チャネルを整備
- 収益性の高いNYJと薬師スタジオの参画により事業ポートフォリオの拡充に寄与

利益面

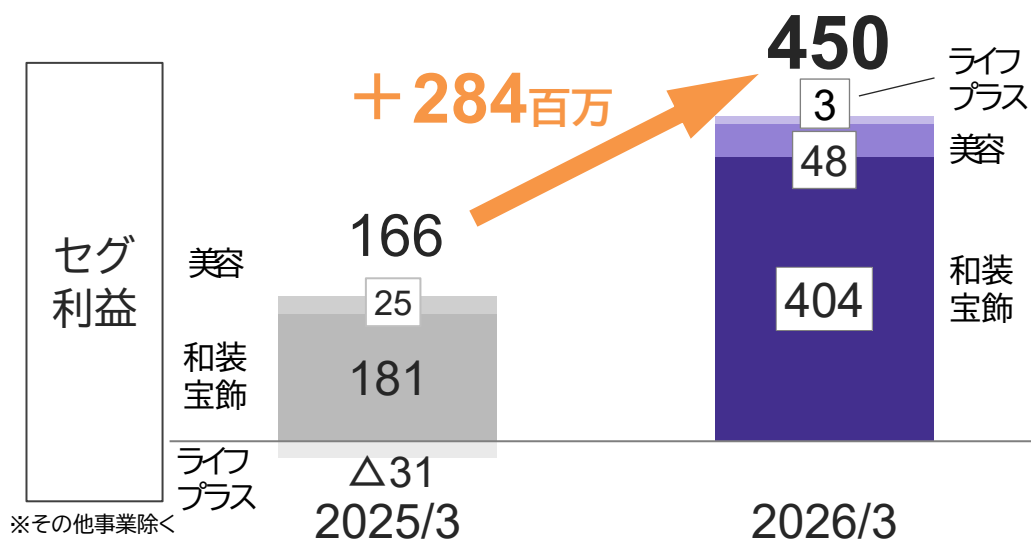
- 積極的な人財採用強化と時給上昇で人件費が増加。収益基盤への先行投資を推進
- 新規参画した薬師・NYJのPMI先行費用を計上するも、フォト・リユースとも黒字化
- 先行投資、PMIは計画通り進捗。来期は期末にグループ入りした教育会社の収益見込む

■ 一時的要因を含みつつも、構造改革により利益基盤が改善



売上面

- 和装宝飾は構造改革継続。店舗当り平均売上高と粗利率が上昇し、損益分岐点も改善
- 美容は店舗最適化を進めつつ、価格改定・サービスメニュー強化により売上構成が改善
- ライフプラスは拠点統廃合と販路拡大を推進し、事業基盤の改善が進展



利益面

- 和装宝飾は一時的要因を含みつつ、販売管理精度向上により利益改善
- 美容は店舗最適化・価格改定等により、利益が25百万円から48百万円へ拡大
- ライフプラスは販路拡大・コスト管理により、△31百万円から3百万円へ黒字化

目次

- I. Executive Summary
- II. 2026年3月期 決算概要
- III. 中期経営計画の進捗**
- IV. 2027年3月期 計画
- V. Appendix

収益構造の強化に向けた進捗

- コアバリューは補正後でも改善、全社EBITDAマージンは3.3%へ上昇
- 高収益なニューバリュー構成比を高め、全社収益性の向上を目指す

主要KPIの進捗

2025/3 ⇒ 2026/3

全社EBITDAマージン(補正後)

2.6% ⇒ **3.3%**

補正後ベースでも上昇

ニューバリュー売上構成比

12.6% ⇒ **15.2%**

高収益領域の構成比上昇

セグメント別EBITDAマージン

2025/3 ⇒ 2026/3

ニューバリュー

6.5% ⇒ **6.3%**

先行投資・PMI費用を含みつつ、
6%超の収益水準を確保

コアバリュー

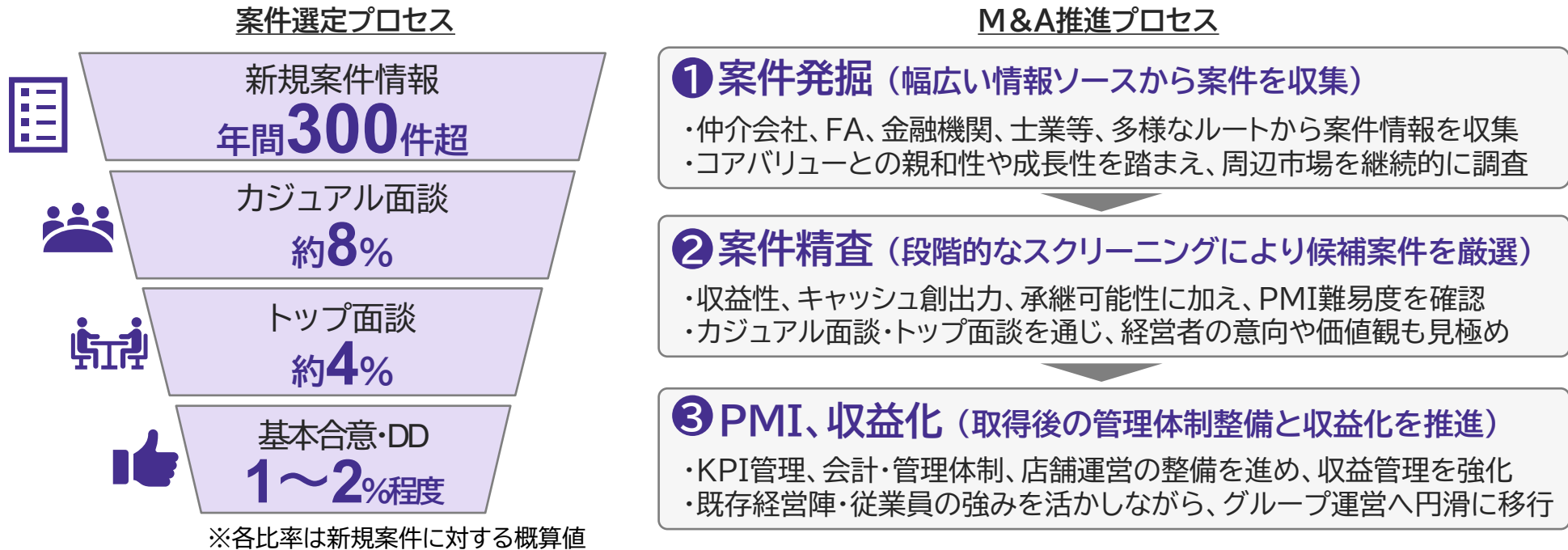
1.6% ⇒ **2.3%**

一過性要因を除く補正後でも改善

※全社の2026/3 EBITDAマージンは、一過性要因控除およびM&A取得関連費用加算後の補正後ベース

※コアバリューの2026/3 EBITDAマージンは、和装宝飾事業の一過性要因を除いた補正後ベース

■ 案件発掘からPMIまで、段階的に精査・推進



今後注視する生活関連サービス領域

コアバリューとの親和性や顧客LTV向上の観点から、周辺市場を継続的に調査



ウェルビーイング/
セルフケア



リユース/
サステナブル



セレモニー/
ライフサポート



美容周辺
サービス

▶ 案件数ではなく、選定精度とPMIの質を重視し、再現性ある成長モデルを構築

- フォト・リユース・教育の成長領域を拡充し、収益性を重視した事業ポートフォリオへ

M&Aによる成長領域の拡充

フォト



2025/4 参画

薬師スタジオ
5店舗／町田市周辺エリア

- ライフイベントに寄り添う高付加価値フォト事業を展開
- マタニティ、ニューボーン、ペット撮影等の需要に対応
- 多様な顧客接点を通じ、ニューバリュー領域を拡充

リユース



2025/6 参画

NYJ ニューヨークジョーエクスチェンジ
3店舗／下北沢・吉祥寺・渋谷

- 若年層・高感度層に訴求する先進的リユースブランドを保有
- SNS活用・独自の店舗設計で、高い空間価値と顧客体験を創出
- 販売・買取・トレード方式を通じ、顧客接点と収益機会の拡大へ

教育



2026/3 参画

アークネット
7教室／東京都内

- 教育熱・個別指導需要が高い東京市場で7教室を展開
- 1教室当たり在籍生徒数が高く、効率的な教室運営を実現
- 運営ノウハウを既存教室へ共有し、教育事業全体の収益性向上へ

収益性・投資効率を重視したM&Aで、ニューバリュー構成比を高める

■ 継続的なM&A実行と企業価値向上を支えるため、経営基盤を強化

人的資本

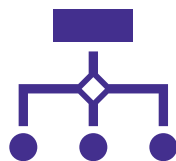


人財パイプラインの整備

▶ 役職要件の可視化により、事業拡大を支える人財育成を推進

- 店長、店長代行、チーフ等の役職要件を明確化
- 店舗運営の標準化とキャリアパスの明確化を推進
- 将来を担う次世代事業幹部候補の計画的な育成を推進

ガバナンス



グループ管理体制の強化

▶ 法務・コンプライアンス体制により、事業拡大を支える管理基盤を強化

- 法務コンプライアンス部を新設し、専門部署として機能を強化
- グループ会社の増加に対応し、リスク管理体制を整備
- 攻めのM&Aを支える守りの管理基盤をさらに強化

資本市場対応



資本市場との対話強化

▶ 成長戦略への理解促進により、資本市場からの信頼形成を推進

- 株主数は前期末の約5,400名から約7,600名規模へ拡大
- 個人投資家向け説明会の再開など、投資家層の裾野を拡大
- 決算説明資料・説明会等を通じ、情報発信力を強化

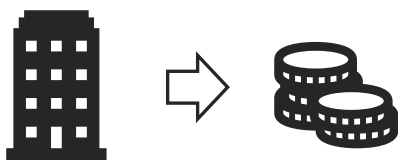
M&Aの実行力と経営基盤を一体で高め、継続成長の再現性を強化

■ M&Aの実行力を高めるための戦略的な選択肢として活用

- 暗号資産をM&Aの対価・条件設計に組み込み、実行力と選択肢を拡大
- 売主ニーズへの対応力を高め、案件獲得力・資金効率の向上を目指す

【平時】取得・保有

- BTC※を段階的に取得、保有
- 取得価格の平準化を図る
- M&A時の条件設計に備える



※BTCはビットコインを指します

【M&A時】対価・条件設計

✓ 現金対価を基本
+
一部暗号資産
+
プットオプション
(売却権)付与

※一定条件で当社に売却できる権利

◆ 案件特性、売主意向に応じた柔軟な提案を検討

期待される効果

売主側の選択肢

- ✓ 対価受領の多様化
- ✓ 現金化時期の柔軟性
- ✓ 価格変動への配慮

当社側の効果

- ✓ 初期資金負担の抑制
- ✓ 資金配分の柔軟化
- ✓ 案件獲得・交渉力向上

- 取得枠と外部アドバイザーの助言により、M&A活用に向けた実務論点を検証
- 対価条件設計と保有資産の運用効率向上を、リスク管理を前提に検討

取得枠の概要

対象通貨	BTC
年間購入上限	10億円
実施期間	2026年6月～ 2027年5月
取得方法	分割取得

備考:

市場環境・M&A進捗・財務状況等を踏まえ、取得時期・金額を段階的に判断

実務化に向けた検討体制

①段階的な取得判断

市場環境・M&A進捗を踏まえ、
取得時期・金額を判断

②モニタリング体制

四半期ごとに時価評価を行い、
取締役会へ定期報告

③実務論点の確認

法務・税務・会計等を確認し、
取得・保有・活用体制を整備

④保有資産の運用効率

レンディング(貸暗号資産)等を含め、
保有期間中の運用効率向上を検討

外部アドバイザー



高桑 昌也 氏

公認会計士・税理士
適格機関投資家

暗号資産、M&A、税務・会計分野、
金融規制等の専門知見を有する
外部アドバイザーとして招聘

主な助言領域:

- 取得・保有に関する実務論点、
管理体制・会計処理等の整理
- M&A対価・売却権への活用可能性、
条件設計上の論点整理
- レンディング等の活用による
保有資産の運用効率向上と
リスク管理面の論点整理

目次

- I. Executive Summary
- II. 2026年3月期 決算概要
- III. 中期経営計画の進捗
- IV. 2027年3月期 計画**
- V. Appendix

2027年3月期 通期業績予想

- 現時点で織り込める前提を精査し、収益基盤の強化とPMIの実効性を重視
- 一過性効果の反動と償却負担等を織り込みつつ、取得済み会社の寄与により増収を計画

(百万円)	2026/3 (実績)	2027/3 (計画)	前年比	
			増減額	増減率
売上高	14,724	15,000	+276	+1.9%
EBITDA	593	528	△65	△10.8%
営業利益	411	312	△99	△24.2%
経常利益	360	250	△110	△30.7%
当期純利益	207	128	△79	△38.4%
EPS(円)	5.96	3.67	△2.29	—
1株配当(円)	1.5	1.5	—	—

計画策定のポイント

- **グループ入り会社の収益寄与拡大**
薬師スタジオ・NYJの通年寄与とアークネットのPL連結開始を反映
- **一過性効果の反動・償却負担を織り込む**
和装宝飾の一過性効果の反動とM&Aに伴う償却負担増を計画に反映
- **新たなM&A効果は未反映**
案件の確度・時期を精査し、具体化後に業績予想へ適切に反映

※EBITDAは、営業利益と減価償却費(のれんに係る償却費を含む)の合計額

2027年3月期 営業利益計画の増減要因

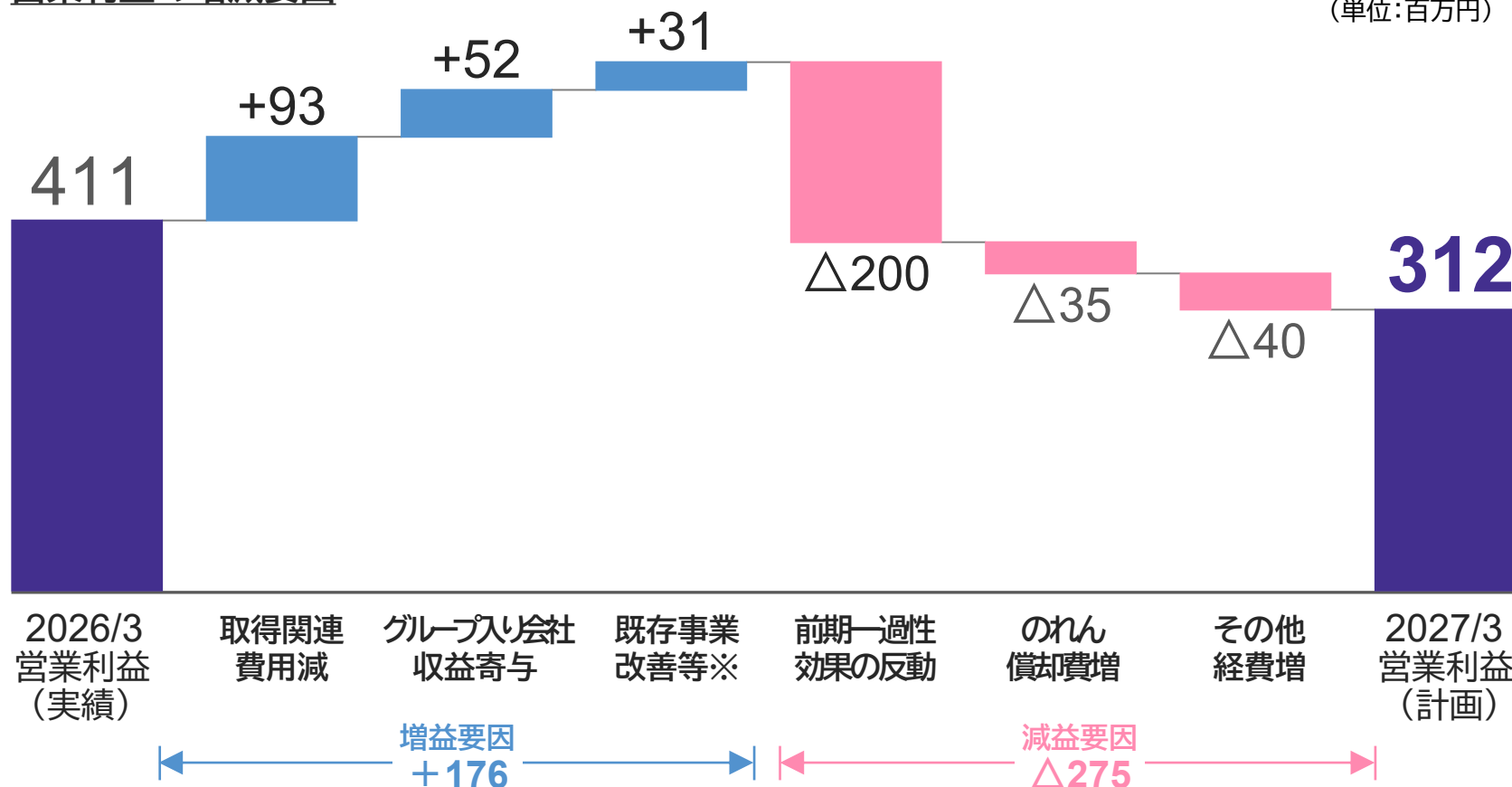


Yamano Holdings

- 一過性効果の反動と償却負担を織り込むも、中計初年度を上回る利益水準を計画
- 取得済み会社寄与と既存事業改善を取り込み、基礎的な収益力は着実に向上

営業利益の増減要因

(単位:百万円)



※既存事業改善等には、コアバリューおよびニューバリュー既存事業の改善、その他軽微な増減要因を含む

※グループ入り済み会社寄与は、2026年3月期までに取得済みの会社による収益寄与

- 具体化した収益貢献を着実に積み上げ、M&A戦略とPMIの実行力により再現性ある成長へ

01 業績予想に織り込んだ収益貢献

各事業の収益改善とグループ入りした会社の収益寄与を計画に反映

コア改善

和装宝飾・美容・ライフプラスの収益性改善を継続

通年寄与

薬師スタジオ・NYJの通年収益寄与を取り込み

PL連結

アークネットのPL連結開始により教育事業を拡充

一時負担減

M&A取得関連費用の一時負担減を織り込み



02 M&A戦略の実行力向上

案件選定・条件設計・PMIを通じ、成長モデルの再現性を高める

案件選定

収益性・投資効率を重視した案件選定を継続

条件設計

対価・条件設計の選択肢を拡充

PMI高度化

グループ入り後の収益貢献拡大を推進

予想反映

新たなM&A効果は確度・時期を見極め反映

収益改善・通年寄与・PL連結を着実に取り込み、次の成長投資へ接続

- 安定配当と成長投資を両立し、資本効率を意識した経営と市場評価向上を推進

持続的な企業価値向上へ 株主還元・成長投資・市場評価向上を一体で

株主還元・優待

安定配当と株主優待により、
個人株主との接点を強化

- ・年間配当予想 1株 1.5円
- ・安定配当を基本に判断
- ・株主優待制度※を継続

成長投資・財務規律

M&A・PMIへの投資を継続し、
収益基盤をさらに強化

- ・事業承継型M&Aを継続
- ・PMIによる収益化を推進
- ・財務規律を意識した運営

資本効率・市場評価

資本効率を意識し、市場評価
向上につながる発信を強化

- ・資本効率と財務健全性を意識
- ・投資家との対話を強化
- ・市場評価向上を目指す

※株主優待制度の詳細は当社IRサイトをご参照ください

目次

- I. Executive Summary
- II. 2026年3月期 決算概要
- III. 中期経営計画の進捗
- IV. 2027年3月期 計画
- V. Appendix**

会社概要

商号	株式会社ヤマノホールディングス
設立	1987年2月20日
資本金	10,000千円
代表者名	代表取締役社長CEO 山野 義友
本社	東京都渋谷区代々木1-30-7ヤマノ24ビル
株式上場	1997年11月 日本証券業協会 上場 (現 東京証券取引所スタンダード市場)
従業員数	単体357名、連結566名 (女性比率 約70%)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美容室、ネイルサロンの運営 ・和装品、宝飾品、毛皮、洋装品、寝装品、健康関連商品の販売 ・学習塾の運営 ・古着の買取/販売、フォト事業
主要グループ会社	株式会社すずのき 株式会社マンツーマンアカデミー 東京ガイダンス株式会社 株式会社灯学舎 アークネット株式会社 株式会社OLD FLIP 株式会社ニューヨークジョーエクスチェンジ 株式会社薬師スタジオ 株式会社ヤマノセイビング

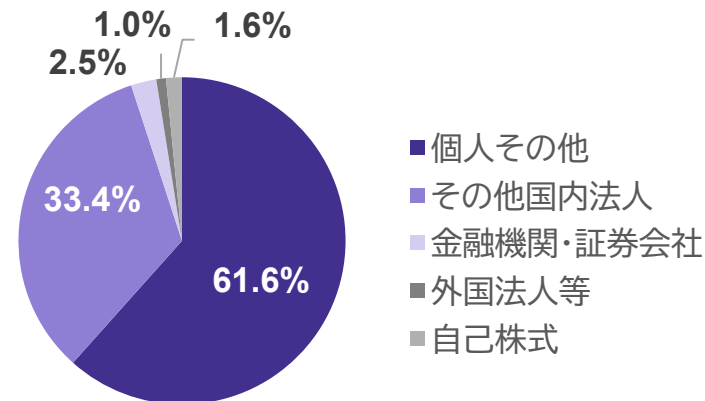
株式の状況

発行可能株式総数	88,000,000 株
発行済株式総数	35,830,058 株
株主数	7,652名

主要株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)ヤマノネットワーク	4,838	13.7
山野義友	3,848	10.9
(株)ヤマノビューティメイトグループ	3,400	9.6
山野功子	2,118	6.0
山野美容商事株式会社	1,919	5.4

所有者別株式分布状況



グループ全体の事業別店舗構成



Yamano Holdings



古着の買取・販売事業を関東中心に展開。商品廃棄ゼロを目指し、リユースファッションを楽しむ新しいライフスタイル提案型のビジネスモデル

リユース 7
フォトスタジオ 5



地域密着の記念撮影サービスを提供。スタジオ4店、レンタル専門店1店を展開

■ : ニューバリューセグメント
■ : コアバリューセグメント



教育

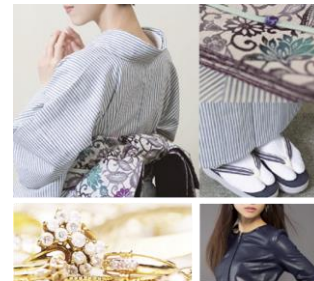
やる気スイッチグループ「スクールIE」のFC加盟事業のメガフランチャイジー。首都圏を中心に、個別指導教室を71教室展開

71

グループ店舗数
272店舗

(2026年3月時点)

和装宝飾



和装用品店を中心に、宝飾店・毛皮店も展開する専門店チェーン 全国94店舗

94

ライフプラス



健康関連商品、家電、洋装、宝飾品等の催事・訪問販売を全国25拠点で展開

25

美容

首都圏・関西圏を中心に、幅広い年齢層に対応した美容室を66店舗。さらに、ネイルサロンを4店舗展開

70



沿革と戦略的成長のステップ



Yamano Holdings

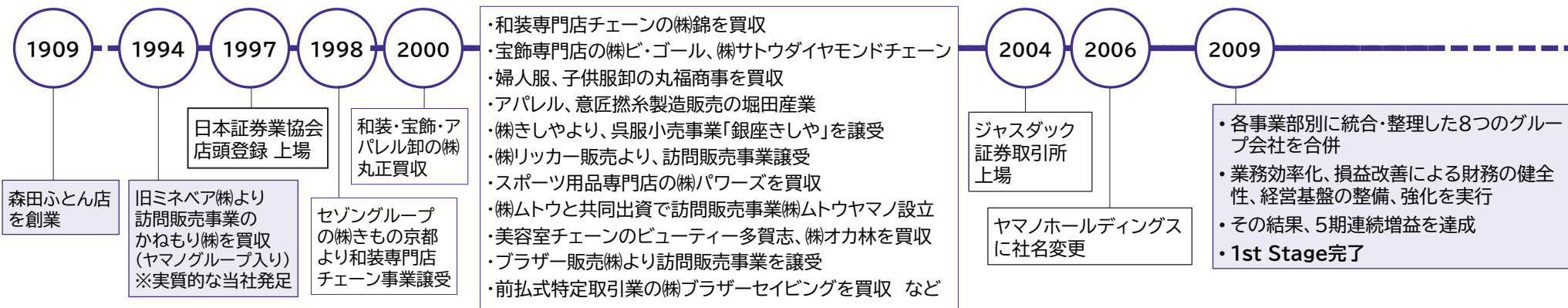
創業／設立

M&Aで事業領域の拡大に乗り出す

第2創業1st Stage

<2001～2007年に買収、事業譲受した主な会社、事業>

<持株会社制から事業本部制に移行>



第2創業2nd Stage

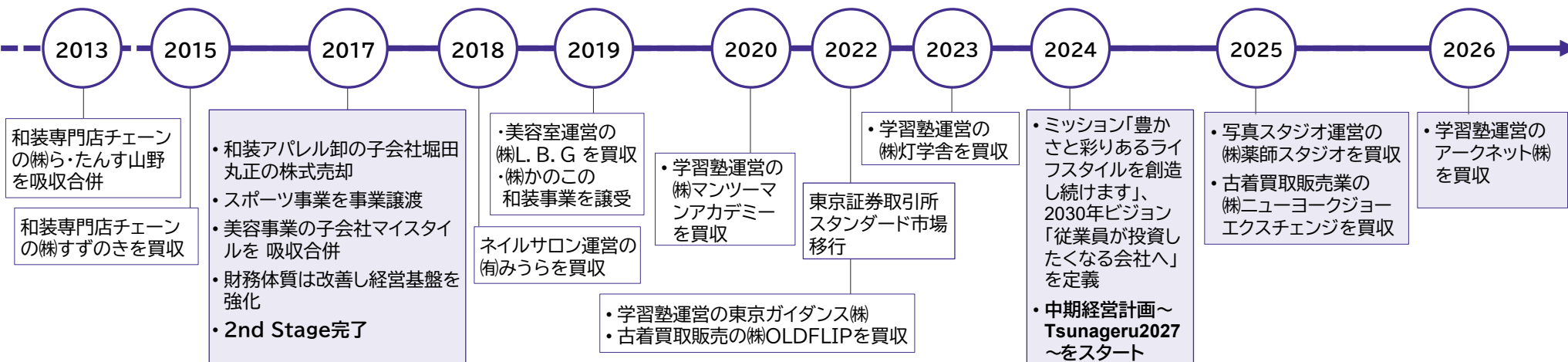
第2創業3rd Stage

中期経営計画 2027

<本格的な事業再編を実行>

<M&Aを継続、新規事業領域への投資拡大>

<成長期待感を醸成、市場の評価獲得>

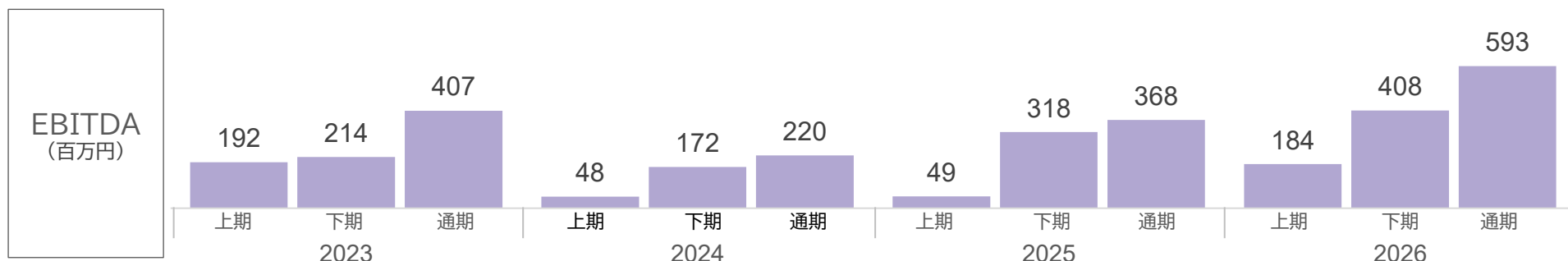
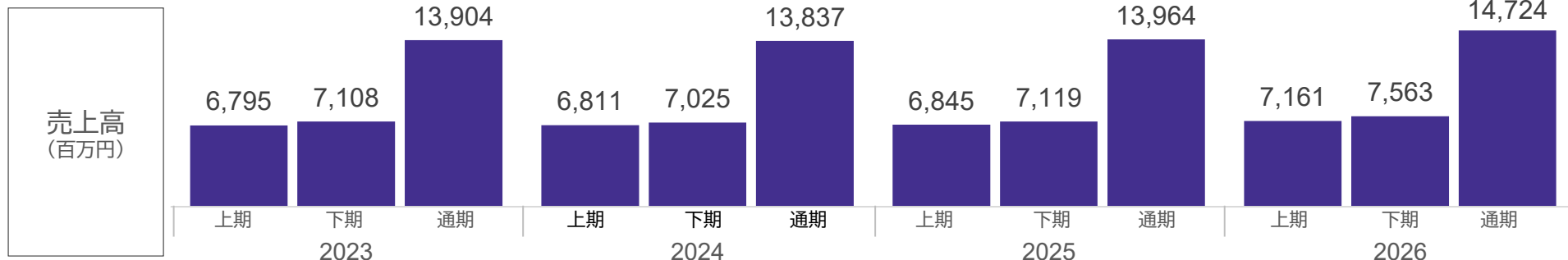


連結業績推移



Yamano Holdings

	2023年3月期			2024年3月期			2025年3月期			2026年3月期		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	6,795	7,108	13,904	6,811	7,025	13,837	6,845	7,119	13,964	7,161	7,563	14,724
EBITDA	192	214	407	48	172	220	49	318	368	184	408	593
営業利益	144	153	297	△8	109	100	△5	261	256	100	310	411
経常利益	140	146	286	4	97	102	△13	249	236	69	291	360
当期純利益	54	119	173	△9	△19	△28	△63	105	41	13	193	207
EBITDAマージン	2.8%	3.0%	2.9%	0.7%	2.4%	1.6%	0.7%	4.5%	2.6%	2.6%	5.4%	4.0%
営業利益率	2.1%	2.2%	2.1%	△0.1%	1.6%	0.7%	△0.1%	3.7%	1.8%	1.4%	4.1%	2.8%
経常利益率	2.1%	2.1%	2.1%	0.1%	1.4%	0.7%	△0.2%	3.5%	1.7%	1.0%	3.8%	2.4%
当期純利益率	0.8%	1.7%	1.2%	△0.1%	△0.3%	△0.2%	△0.9%	1.5%	0.3%	0.2%	2.6%	1.4%

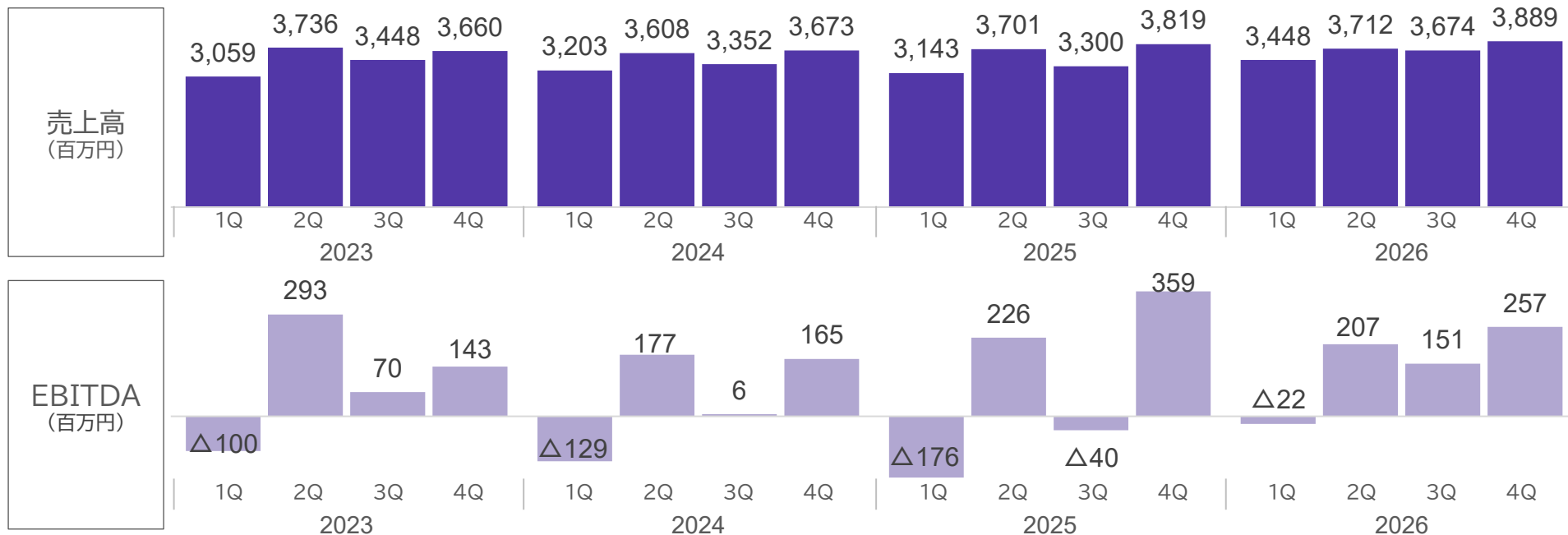


四半期業績推移



Yamano Holdings

	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	3,059	3,736	3,448	3,660	3,203	3,608	3,352	3,673	3,143	3,701	3,300	3,819	3,448	3,712	3,674	3,889
EBITDA	△100	293	70	143	△129	177	6	165	△176	226	△40	359	△22	207	151	257
営業利益	△119	264	39	113	△157	148	△20	129	△204	199	△68	329	△58	158	103	207
経常利益	△124	264	36	109	△158	163	△24	121	△209	196	△74	324	△72	142	96	194
当期純利益	△162	217	1	117	△124	115	△23	4	△171	107	△158	264	△78	91	55	138
EBITDAマージン	△3.3%	7.8%	2.0%	3.9%	△4.0%	4.9%	0.2%	4.5%	△5.6%	6.1%	△1.2%	9.4%	△0.6%	5.6%	4.1%	6.6%
営業利益率	△3.9%	7.1%	1.1%	3.1%	△4.9%	4.1%	△0.6%	3.5%	△6.5%	5.4%	△2.1%	8.6%	△1.7%	4.3%	2.8%	5.3%
経常利益率	△4.1%	7.1%	1.0%	3.0%	△4.9%	4.5%	△0.7%	3.3%	△6.6%	5.3%	△2.2%	8.5%	△2.1%	3.8%	2.6%	5.0%
当期純利益率	△5.3%	5.8%	0.0%	3.2%	△3.9%	3.2%	△0.7%	0.1%	△5.4%	2.9%	△4.8%	6.9%	△2.3%	2.5%	1.5%	3.5%



連結貸借対照表/キャッシュフロー計算書推移



Yamano Holdings

(単位:百万円)

B/S	2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期				2026年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
流動資産合計	7,740	7,624	7,900	7,477	7,482	7,699	7,153	6,865	6,790	6,135	6,571	6,077	6,262	6,051	6,303	6,180
現金及び預金	3,373	3,499	3,581	3,194	3,249	3,525	2,898	2,732	2,585	2,384	2,573	2,438	2,712	2,694	2,875	2,841
売掛金	2,550	2,486	2,621	2,561	2,495	2,533	2,627	2,551	2,407	2,109	2,357	2,127	2,033	1,922	2,010	2,010
固定資産合計	1,864	1,853	1,855	1,880	1,901	1,865	2,001	1,781	1,830	1,767	1,796	1,879	2,168	2,070	2,015	2,232
有形固定資産合計	389	382	375	339	337	323	341	317	316	319	326	353	390	392	388	382
無形固定資産合計	388	377	360	344	328	339	426	363	369	353	400	426	646	613	584	775
のれん	368	354	339	325	311	318	395	338	322	306	291	300	492	465	443	630
投資その他の資産の合計	1,086	1,093	1,119	1,196	1,234	1,201	1,233	1,100	1,144	1,095	1,069	1,098	1,132	1,063	1,041	1,075
資産合計	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903	8,367	7,956	8,431	8,121	8,319	8,413
流動負債合計	6,282	5,965	6,345	5,901	6,248	6,449	5,977	5,560	5,761	5,043	5,464	4,817	5,023	4,491	4,821	4,671
仕入債務	1,557	1,633	1,838	1,475	1,652	1,827	1,637	1,684	1,789	1,491	1,640	1,444	1,507	1,486	1,716	1,515
短期借入金(1年以内含)	2,153	2,151	2,108	2,134	2,333	2,492	2,089	1,753	1,674	1,547	1,506	1,385	1,657	1,369	1,332	1,537
固定負債合計	2,356	2,310	2,202	2,124	1,984	1,852	1,944	1,863	1,800	1,707	1,843	1,811	2,201	2,331	2,144	2,249
長期借入金	1,924	1,879	1,756	1,707	1,584	1,465	1,535	1,462	1,379	1,300	1,384	1,299	1,618	1,757	1,581	1,667
負債合計	8,639	8,275	8,547	8,025	8,232	8,301	7,922	7,423	7,562	6,751	7,308	6,628	7,225	6,823	6,965	6,920
純資産合計	965	1,201	1,208	1,331	1,151	1,262	1,232	1,223	1,058	1,152	1,059	1,327	1,206	1,298	1,353	1,492
株主資本	1,023	1,240	1,242	1,359	1,182	1,297	1,273	1,278	1,107	1,214	1,055	1,319	1,206	1,298	1,353	1,492
評価・換算差額等	△57	△38	△33	△28	△31	△34	△41	△54	△48	△62	3	7	0	0	0	0
負債及び純資産合計	9,604	9,477	9,756	9,357	9,383	9,564	9,155	8,647	8,620	7,903	8,367	7,956	8,431	8,121	8,319	8,413

(単位:百万円)

C/F	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期		2026年3月期	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末
営業活動によるC/F	△120	△108	199	209	129	384	45	377
投資活動によるC/F	△211	△219	△48	9	△98	△126	△76	△299
財務活動によるC/F	54	△129	54	△806	△378	△551	286	324
フリーC/F	△331	△328	151	219	31	258	△30	77
C/F増減額	△277	△457	205	△587	△347	△293	255	402
C/F期末残高	3,010	2,830	3,036	2,243	1,896	1,950	2,205	2,352

ディスクレーム

本資料は、当社の業績概要、ならびに今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

お問い合わせ
経営企画部
Tel: 03-6743-9377
Mail: ir@yhc-net.com